

5代目

1974年(S49年)ー

美しい日本のクラウン

4代目から一新したボクシーなスタイルで登場。

4ドアピラードハードトップを設定し、石油ショック、
排出ガス規制強化など逆境の中、販売を伸ばした。



当時のキャッチフレーズ「クラウン20年の信頼に
トヨタ技術のすべてを集大成。ひたすらに安全を求め、いまニュークラウン
登場」

先代よりも低く、長くなったスタイリングは「日本の美」をテーマとしたもの
で、トヨタ自動車工業が前年に完成させたデザイン・ドームから生まれた
最初の車種である。
冒険しすぎて、盤石だったブランドの信頼を揺るがせた先代の反省から、
当時アメリカで流行っていた復古調のテイストをも感じさせる、オーソ
ドックスで落ち着いたスタイリングをまとめて1974年に登場した5代目。
また、後にクラウンの代名詞的存在となるトップグレードの「ロイヤルサ
ルーン」も誕生した。

シャシーやエンジンなど基本設計は先代から受け継ぐが、オーバードラ
イブ付き4段ATや車速感应型パワーステアリングなど高級車にふさわしい
新機構を採用。排ガス規制への対応も始まり、石油危機後の省資源化
を求める声に応じてディーゼルエンジンも用意。イメージキャラクターは
山村聰と吉永小百合という強力なカップリングで、「美しい日本のクラウン」
というコピーに象徴される、「伝統ある日本の高級車」を強調した広告
戦略もこの代から始まった。

主 な グ レード	2600・スーパーサルーン	2000EFI・スーパーサルーン	2000・スーパーサルーン
車 両 型 式	MS95-YGF	MS90-MGFE	MS90-YGF
採用技術・装備	■ 4ドアハードトップがディ追加 ■ 2.2L 直列4気筒SOHCディーゼルエンジン ■ オーバードライブ付4速A/T<世界初> ■ 非速感応型パワーステアリング<日本初> ■ 4輪ディスクブレーキ ■ ペダル式パーキングブレーキ ■ 後席パワーシート ■ TTC-C(駐車方式による排ガス対策技術)		

1974年(S49年)

1975年(S50年)

1976年(S51年)

1977年(S52年)

1978年(S53年)

世界と日本

岡山県と地域

1月

- 中国とベトナムが西沙諸島の戦い

8月 12月

- 中国縦貫道美作ノ落合間開通
- 岡山駅地下一番街開店
- 天津神社獅子頭・鼻高面、県重要文化財に指定

世界と日本

岡山県と地域

4月

- カンボジアに革命政権成立

3月

- 第一回先進国首脳会議に出席
- 先進国による首脳会議(G6)
- 中国自動車道(吹田ノ落合間)が開通
- 落合町合併20周年記念式典
- 山陽新幹線、岡山ノ博多間開通

世界と日本

岡山県と地域

7月

- ロッキード事件
- モントリオール五輪

4月

- 第一回岡山桃太郎まつり開催
- 岡山市民文化ホール完成
- 瑜伽山に少年自然の家開所

7月

世界と日本

岡山県と地域

7月

- イラン革命
- 気象衛星「ひまわり」を打ち上げ

8月

- 東備西播開発有料道路ブルーハイウェイ開通
- 岡山インターハイ開幕
- 本州四国連絡橋の早期完成を図るルートが「児島ノ坂出ルート」として正式決定

世界と日本

岡山県と地域

7月

- 体外受精世界初の成功
- 第二次オイルショック

8月

- 新東京国際空港(成田国際空港)が開港
- 山陽自動車道備前ノ姫路間起工式
- 瀬戸大橋着工

10月

- 瀬戸大橋起工(鉄入れ)式

岡山トヨタ レストアクラウンプロジェクト

児島店

【営業開始日】 1964年2月
【スタッフ数】 11名

レストアポイント

【修理担当箇所】 プロペラシャフト・デファレンシャル
(ケース含む)

構造は現代と変わらないですね
しっかり掃除して、調整。色も塗りなおしました。

